

卸売市場の概要

令和3年6月



奈良県中央卸売市場

目 次

	頁
1. 中央卸売市場の役割	1
2. 中央卸売市場の機能	1
3. 取引のしくみ	1
4. 奈良県中央卸売市場の関係事業者	2
5. 市場の概要	2
6. 市場のにぎわいづくり	5
7. 市場の再整備	7
8. 食品衛生検査所 市場食品検査課の取り組み	10
9. コンテナ流通システム	11
10. 奈良県中央卸売市場の取扱高	12
11. 関係事業者及び団体等一覧	21
12. 市場開設者等の組織及び所掌事務	24
13. 奈良県中央卸売市場のあゆみ	25

1. 中央卸売市場の役割

中央卸売市場は、毎日の食生活に欠くことのできない生鮮食料品等の円滑な供給と消費生活の安定を図るため、農林水産大臣の認定を受けて開設・管理運営する中核的な流通拠点施設です。

本場は、全国で初めて県営の中央卸売市場として昭和52年5月に開設されました。本場の特色として、県全域を1つの広域流通圏としている点に大きな特徴があります。そのため、開場以来、「県民の台所」として、大きな役割を果たしています。

2. 中央卸売市場の機能

中央卸売市場の役割としては、以下の機能が挙げられます。

- ① **集荷機能**：多種多様な生鮮食料品を、全国各産地をはじめ国外からも集荷します。
- ② **価格形成機能**：卸売業者（売り手）と仲卸業者や売買参加者（買い手）が、せり売・入札あるいは相対による公正かつ効率的な売買取引を通じて適正な価格を形成させます。
- ③ **分荷機能**：仲卸業者は買い受けた商品を、仕分け・加工等を行った上で量販店や小売店に販売・配送しています。
- ④ **代金決済機能**：これら一連の流通段階で発生した代金決済を、迅速かつ確実に行うことにより、出荷者との信頼関係を保持し円滑な流通基盤としての機能を果たしています。
- ⑤ **その他の機能**：その他、産地情報や消費者動向を収集し双方に発信する情報提供機能や、食中毒の防止に努めるなど衛生管理機能があります。また、台風や地震等の災害時に食糧の緊急確保を図る災害対応機能があります。

こうした機能により、生産者は商品を安心して出荷でき、一方、小売商は生鮮食料品等を安定して仕入れることが可能となります。市場は消費者に安全・安心な生鮮食料品を適正な価格で供給するという重要な役割を担っています。

3. 取引のしくみ



4. 奈良県中央卸売市場の関係事業者

(令和3年6月1日現在)

- (1) 卸売業者 (青果部2社、水産物部2社)
知事の許可を受け、出荷者から販売の委託、または買い付けた物品を、せり売又は相対取引等で仲卸業者及び売買参加者に卸売をします。
- (2) 仲卸業者 (青果部18社、水産物部22社)
知事の許可を受け、市場内に店舗を持ち、卸売業者から買い受けた物品を仕分け又は調製し、小売業者その他の買出人に相対取引により販売をします。
- (3) 関連事業者 (26業者)
ワンストップショッピングとして、市場機能の充実に図るため、知事の許可を受けて、市場内の店舗において、買出人等の市場利用者に便益を提供する業務を営みます。
- (4) 売買参加者 (119人〔内訳：青果部91人、水産物部28人〕)
小売業者及び加工業者などのうち知事の承認を受けて卸売業者から直接卸売を受けることができます。

5. 市場の概要

- (1) 名 称 奈良県中央卸売市場
- (2) 所 在 地 大和郡山市筒井町957番地の1
- (3) 開 設 者 奈良県 (奈良県知事)
- (4) 施 設 規 模 敷地面積 151,258㎡
建築面積 45,450㎡
延床面積 58,267㎡
- (5) 市場の休場日・開場時間・販売開始時刻
 - ① 市場の休業日
・日曜日、祝日、1月2日～4日及び12月31日 (臨時開場日を除く)
・臨時休場日
 - ② 開場時間
・午前0時から午後12時 (24時間)
 - ③ 販売時刻
 - イ) 相対取引
・青果部 午前2時から午後12時
・水産物部 午前0時から午後12時
 - ロ) せり売
・青果部 遠地野菜：午前5時20分 果実：午前5時50分
近郷物品：午前6時
 - ・水産物部 生まぐろ：午前4時30分 鮮魚：午前5時
塩干：午前5時20分
- (6) 取扱品目
 - ① 青果部 野菜、果実及びこれらの加工品 (委託手数料 野菜8.5% 果実7%)
 - ② 水産物部 生鮮水産物及びその加工品 (委託手数料 5.5%)

(8) 主要施設の概要

種 類	構 造	延床面積㎡
卸売場棟	鉄骨造 2階建	31,280
卸 売 場		14,358
仲 卸 売 場		8,373
買荷保管積込所		3,225
冷蔵庫棟	鉄筋コンクリート造、鉄骨造 冷蔵能力 5,821 t	7,081
関連商品売場棟	鉄筋コンクリート造 2階建	7,788
管理棟	鉄筋コンクリート造 3階建	2,470
特高受変電棟	鉄筋コンクリート造 2階建	883
バナナ加工場	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平屋建	926
倉庫加工場	鉄筋コンクリート造 4棟 平屋建	2,182
青果水産加工場	鉄筋コンクリート造 2棟 平屋建 鉄筋コンクリート造 2棟 平屋建(付属棟)	1,903
関連倉庫	鉄骨造 平屋建	180
買荷積込所	鉄骨造 平屋建	186
荷捌き場	鉄筋造 4棟 平屋建	1,988
廃棄物集積所	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平屋建	323
発泡スチロール処理施設	鉄骨造 平屋建	43
郵便局	鉄骨造 平屋建	124
その他施設	上水処理施設、守衛所他	910
駐車場	約 1,700台 (地上約1,360台、屋上383台)	47,012

(9) 市場使用料

(税抜)

種 別	金 額
卸売業者市場使用料	卸売金額の千分の2.5に相当する額及び卸売場面積1㎡につき月額180円
仲卸業者市場使用料	規定による買入物品の販売金額の千分の2.5に相当する額及び仲卸売場面積1㎡につき月額1,320円
買荷保管所使用料	1㎡につき月額680円
買荷積込所使用料	1㎡につき月額840円
荷さばき場使用料	1㎡につき月額490円
屋上駐車場使用料	1台につき月額7,200円
倉庫A使用料	1㎡につき月額910円
倉庫B使用料	1㎡につき月額600円
冷蔵庫使用料	1棟につき A棟:月額270万円 B棟:月額226万円 C棟:月額55万円
バナナ加工室使用料	1棟につき120万円
加工場使用料	1㎡につき月額960円
福利厚生施設使用料	1㎡につき1,200円
関連事業者市場使用料	1㎡につき2,520円
銀行事務所使用料	1㎡につき1,440円
関係業者・団体事務所使用料	1㎡につき1,200円
水道使用料	使用水量1㎡につき65円
郵便事務所使用料	1㎡につき1,560円

6. 市場のにぎわいづくり

当市場では、関連事業者と連携しながら県民の皆様に、卸売市場の機能や施設について理解をいただけるよう、多彩なイベントを実施しています。

(1) チビッツ市場探検※(主催：市場協会)

小学生に親子で市場を探検してもらう市場体験イベントです。

夏休み期間(7月下旬～8月上旬)のいずれかの1日に開催しています。

- ・流通学習
- ・市場内見学と取扱商品の展示
- ・市場冷蔵庫での超低温体験
- ・マグロの解体試食
- ・関連店舗コーナー



(2) 冬の市場まつり※(主催：市場協会)

多くの県民の皆様に市場を知っていただくため、例年11月下旬に開催している市場開放イベントです。

- ・県内大学の学生による市場の新鮮食材を使った自慢料理
市場内の事業者による「まぐろの解体・せり販売」「鍋」「おでん」
- ・入場者参加による模擬セリ(果物・魚介・花)
- ・奈良B級グルメ など

冬の市場まつり

入場無料

令和元年 奈良県中央卸売市場 特設会場

11月23日(土・祝) 朝8時30分～昼13時 販売開始9時～

市場ならではの名物料理・名物イベント!

- ・市場の名物料理 (かに鍋、ふく鍋、松葉蟹を入りちゃんめん、ぜんまい、きのこ鍋)
- ・マグロの解体・せり販売
- ・模擬せり体験 (果物・魚介・花)

学生自慢料理や奈良のおいしいもの楽しいイベントが盛りだくさん!

ステージイベント

- ・アンサンブル隊
- ・月ちゃんと宇ぼう!
- ・おさかなライブショー
- ・短歌歌唱
- ・魚のさき方教室

駐車場 800台



(3) 食祭市※(主催：関連卸協同組合)

毎月最終土曜日は関連商品売場棟において、一般販売イベントを開催しています。中央卸売市場をより身近に感じていただくとともに、いろいろな業務食材や用品等を一般の方が購入できます。

- ・各店舗による奉仕価格での販売
- ・組合主催によるマグロの解体販売(不定期) など



(4) なら いちばのキッチン※

関連商品売場棟内の「なら いちばのキッチン」において、畿央大学と連携し、県民の方々を対象とした料理教室を年3回開催しています。

畿央大学健康栄養学科の教授や学生が講師となり、調理の実習指導を行います。また、場内事業者もプロの目利きとしての立場から食材についての説明を行っています。



学生が考案したレシピの例

ヤマトポークの彩り野菜巻き ～和風ジュレを添えて～

<材料>

A 和風ジュレ

- ・かつおだし 20 g
- ・水 0.4 g
- ・鰹節 5 g
- ・酢 5 g
- ・濃口醤油 5 g
- ・粉ゼラチン 0.5 g

B 肉巻き

- ・生椎茸 10 g
- ・人参 10 g
- ・インゲン 12 g
- ・ヤマトポーク 60 g
- ・サラダ油 2 g

<作り方>

- ①鰹だしを取って、ゼラチンを溶かし、酢、醤油の順に入れて、冷やす。
- ②椎茸をせん切りにする。
- ③人参とインゲンを同じ大きさに切り、茹でる。
- ④ラップでヤマトポークをはさみ、薄くのばす。
- ⑤上側のラップを外し、インゲン、人参、椎茸を細長くおき、下側のラップを使って巻く。
- ⑥フライパンに油をひき、蓋をして焼く。

エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食塩相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
182	13.1	12.6	2.8	0.8	13	0.4	78	0.44	0.14	2

※ 令和2年度(中)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、(1)～(4)のイベントは中止しました。

7. 市場の再整備

『奈良県中央卸売市場再整備基本計画』及び 『「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」実施プラン』概要

(基本計画: 令和元年9月策定)
(実施プラン: 令和3年3月策定)

1. 奈良県中央卸売市場の現状と課題

1) 市場を取り巻く主な現状

(1) 社会環境の変化

- ・人口減少・少子高齢による食料消費の減少
- ・食の簡便化志向、中食の増加
- ・生産地の高齢化や後継者不足
- ・産直取引、インターネット販売、直売所などの市場外取引の拡大

(2) 農業担い手の高齢化

- ・本県の農業従事者の平均年齢は68.8歳で、60歳代と70歳代が主体
- ・40歳代までの農業従事者は948人と全体のわずか7%

(3) 市場の取扱高の減少

- ・青果
平成10年361億円→平成30年315億円
 - ・水産
平成4年279億円→平成30年134億円
- 奈良県中央卸売市場の取扱高推移



出典: 奈良県中央卸売市場 統計情報

(4) 奈良県の観光動向

■観光客数

- ・急増する観光客数
平成24年3,429万人→平成29年4,420万人

■宿泊者数

- ・宿泊者数も増加
- ・ただし全国平均より低い状況

奈良県の観光客数と宿泊者数の推移



出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」
観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」

(5) 中央卸売市場の立地

- ・北に「西の京」「平城宮跡」「奈良公園」、西に「法隆寺」などの観光スポット
- ・東に「なら歴史芸術文化村」などの文化施設
- ・南に「まほろば健康パーク」などのスポーツ施設

2) 市場再整備に向けた課題への対応

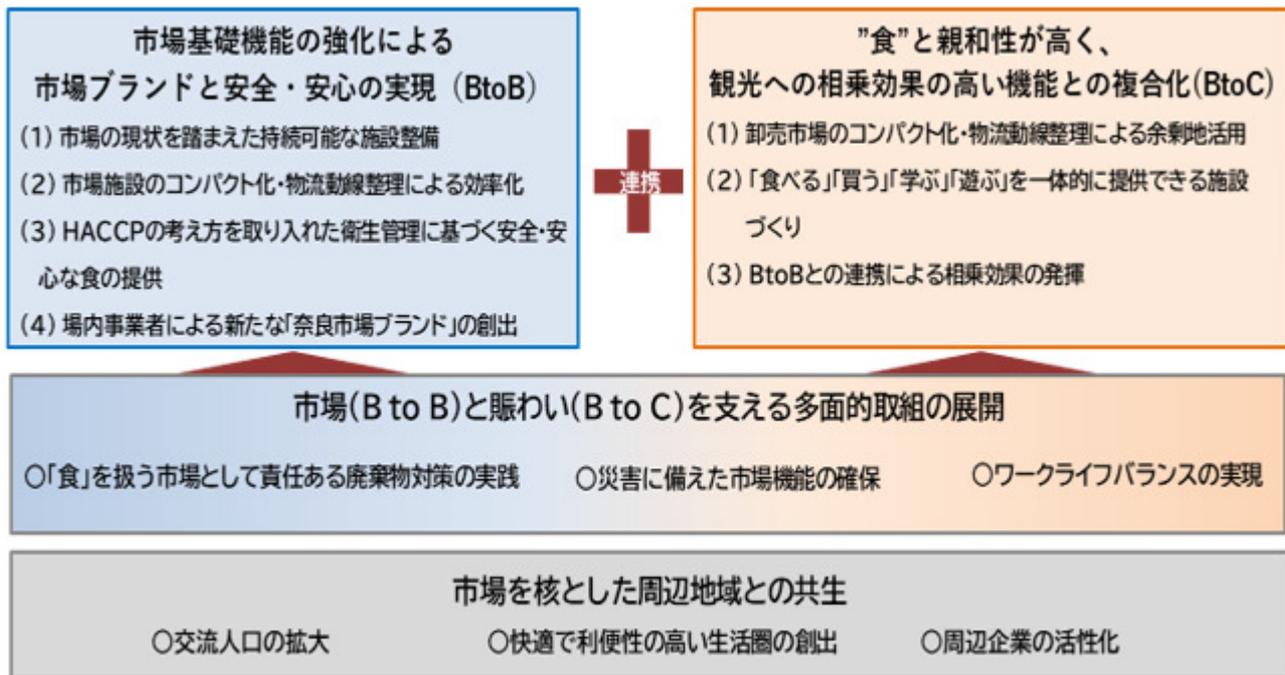
(1) 市場 (BtoB) エリア

- ① 集荷力の向上
- ② 販売力の強化
- ③ 品質管理体制の強化
- ④ 流通構造の多様化への対応
- ⑤ 業務実施体制の改善

(2) 販わい創出 (BtoC) エリア

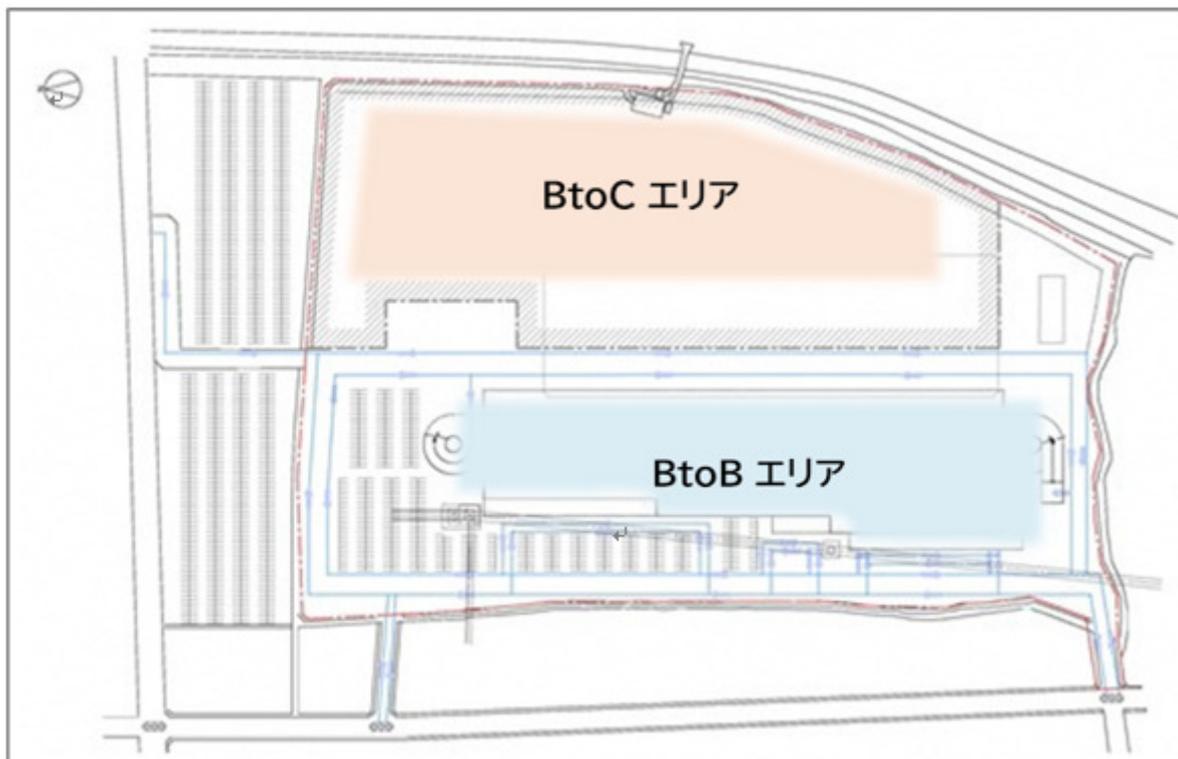
- ① 一般消費者に開かれた新しい市場としての機能の確保
 - ② 広域集客による周辺地域への経済効果拡大に資する施設の検討
 - ③ 滞在時間拡大につながる魅力あるコンテンツの検討
 - ④ 多様な世代が楽しめるエンターテインメントの導入
- ⑥ 立地条件を生かした食エリアの創出

2. 中央卸売市場再整備のコンセプト



3. 中央卸売市場再整備に係る土地利用計画（案）

- ・ 市場エリア（BtoB）を西側に配置：市場の同時開業、整備事業費の抑制等を目指す
- ・ 賑わいエリア（BtoC）を東側に配置：賑わい施設整備へのより多くの民間事業者参入を促進
- ・ 北側用地を取得し、駐車場用地及びアクセス通路を整備



4. 各エリアの整備

1) 市場エリア (BtoB) の整備について

(1) 市場エリア (BtoB) の機能

- ・基本計画の施設整備コンセプトを踏襲しながら、具体的な規模及び機能を整理
- ・市場施設のコンパクト化や物流動線の整理による効率化、コールドチェーンに対応できる施設を整備
- ・社会環境の変化に対応した持続可能な卸売市場として、配送や加工の共同化を推進

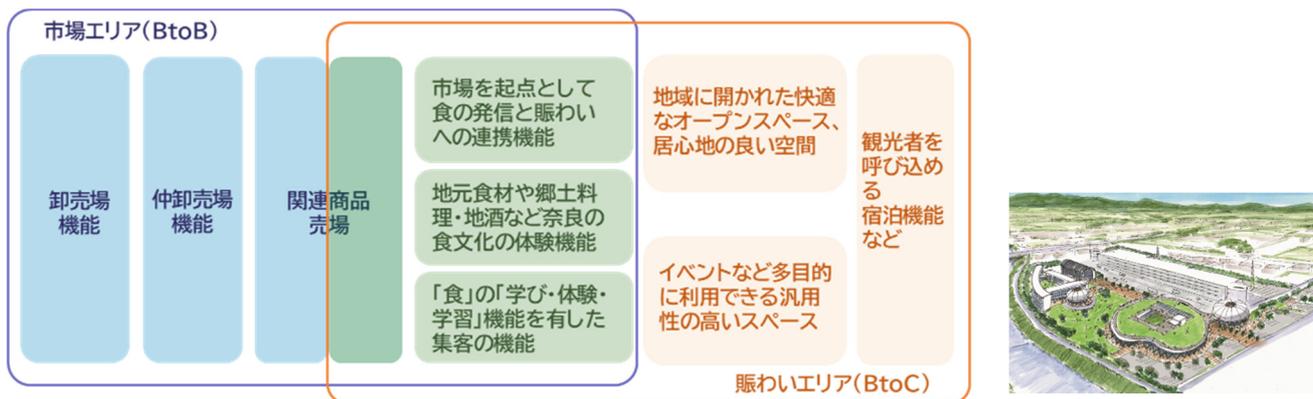
(2) 市場エリア (BtoB) の整備方式

- ・多くの制約条件がある敷地での整備であるため、民間事業者の技術等を活用できる PFI 方式を採用
- ・事業方式については、卸売市場運営の特殊性に加えて、新型コロナウイルス感染症の流行による投資意欲の減退等を踏まえ、運營業務を含まない B T 方式を採用※
- ・B T 方式においては、①設計・施工一括発注による工期短縮、②民間ノウハウによる最適な工法の採用③建設コストの削減が見込まれる。

※民間事業者が建築した後、所有権を公共側に移転

2) 賑わい創出エリア (BtoC) の整備について

賑わいエリア (BtoC) は、卸売市場の付帯施設として、市場エリア (BtoB) と連携し、賑わいの創出を目的として整備する。食を通じて多様な世代が楽しめる魅力あるコンテンツを導入し、観光客も呼び込める新たな観光スポットとして整備。



中央卸売市場再整備の全体イメージ

5. 整備スケジュール (予定)

- ・市場エリア (BtoB) の整備を先行し、賑わいエリア (BtoC) の整備手法を具体化
- ・市場棟を除却後に、賑わいエリア (BtoC) を整備 (民間活力導入を目指す)
- ・市場エリア (BtoB) : 令和 7 年度開業、賑わいエリア (BtoC) : 令和 1 0 年度開業を目指す

年次	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	
市場エリア (BtoB)	市場エリアの整備検討	事業者募集・選定/契約/設計施工(一括)				開業準備	市場棟の解体			
賑わいエリア (BtoC)	土地利用の検討	民間事業者サウンディング整備検討	整備手法の選定/事業者募集 事業者選定/契約				賑わいエリア(BtoC) 基本設計/実施設計/施工		開業準備	
用地買収	北園用地の買収									

8. 食品衛生検査所 市場食品検査課の取り組み

(1) 食品及び食品取扱施設の試験・検査

県民のみなさんに安全で安心な食品を提供するため、市場内で取り扱う食品や設備・器具等について微生物検査及び理化学検査（残留農薬や放射性物質を含む）を実施しています。

なお、令和2年度は魚介類、野菜・果物、そうざい、めん類、魚肉練り製品等473検体9850項目の試験・検査を実施しました。



(2) 監視及び広報啓発

市場内の加工場や卸売場棟、関連売場棟における衛生監視や食品の表示に関するチェックを行っています。

特に、水産加工場や水産仲卸売場では新鮮な魚介類を加工・販売できるように、赤外線放射温度計を使用して魚介類の表面温度等をチェックしています。

衛生管理の見える化を進めるため説明会を開催し、場内事業者の方へHACCP（ハサップ）の考え方を取り入れた衛生管理の早期導入を促しました。



9. コンテナ流通システム

生産者は農産物を段ボールケースへ詰め出荷しますが、量販店や小売店は、段ボールからパックや袋に小分けして販売するため、使用済みの段ボールは、ゴミとして処分されます。

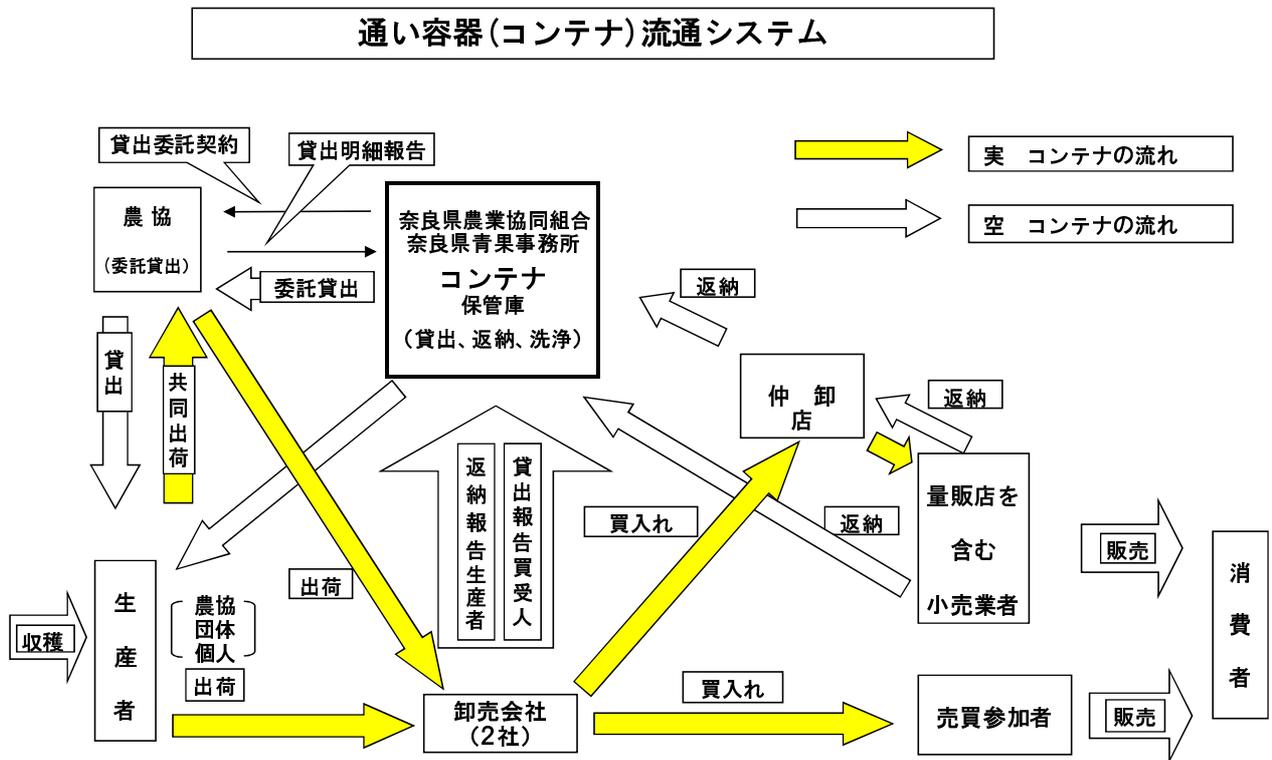
そこで、段ボールの出荷経費やゴミの削減を図るため、プラスチック製コンテナ(通い容器)を使用します。

このシステムは、近郷売場に出荷される青果物の鮮度維持と取引及び輸送の合理化を図るため、コンテナ保管庫から生産者(農協委託貸出)にコンテナを貸し出します。生産者は、このコンテナに青果物を入れ中央卸売市場(卸売会社)に出荷します。

セリで落札した仲卸業者、売買参加者は、それぞれの店舗へコンテナのまま持ち帰って販売し、販売終了後の空コンテナをコンテナ保管庫に返します。

令和2年度

数量等	コンテナの種類		
	Aコンテナ	Bコンテナ	Cコンテナ
	(大)	(中)	(小)
年間取扱量	2,500 個	17,000 個	50 個
生産者登録	7,000人		
コンテナ入荷量の多い品目	①小松菜	②しろ菜	③ほうれんそう
コンテナ入荷率の高い品目	①小松菜	②しろ菜	③ほうれんそう



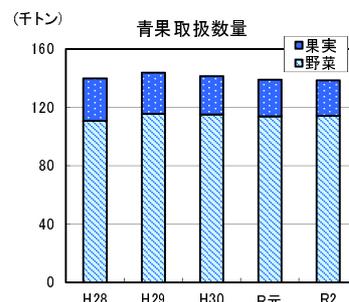
10. 奈良県中央卸売市場の取扱高

◎ 青果部

①数量ベース

単位: t

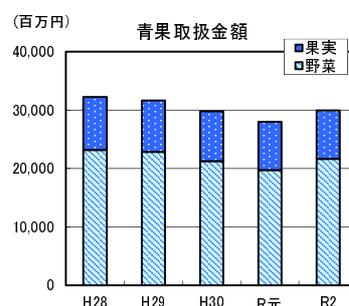
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
野菜	110,913	115,769	115,327	113,991	114,459
前年度比	94%	104%	100%	99%	100%
果実	29,052	28,159	26,268	25,090	24,179
前年度比	93%	97%	93%	96%	96%
合計	139,965	143,928	141,595	139,081	138,638
前年度比	94%	103%	98%	98%	100%



②金額ベース

単位: 千円

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
野菜	23,183,262	22,849,282	21,284,341	19,752,933	21,644,765
前年度比	100%	99%	93%	93%	110%
果実	9,062,364	8,812,706	8,497,351	8,240,763	8,309,438
前年度比	96%	97%	96%	97%	101%
合計	32,245,626	31,661,988	29,781,692	27,993,696	29,954,203
前年度比	99%	98%	94%	94%	107%

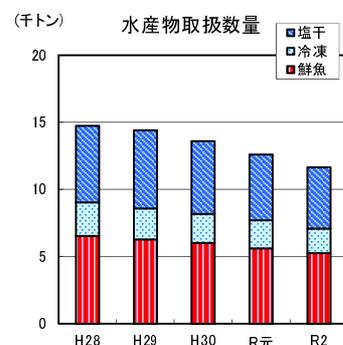


◎ 水産物部

①数量ベース

単位: t

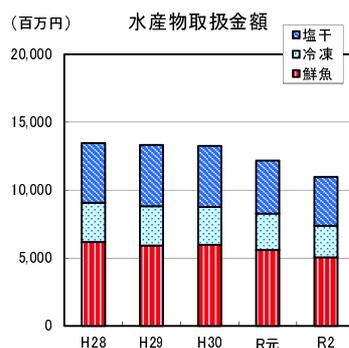
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
鮮魚	6,521	6,274	5,999	5,610	5,239
前年度比	88%	96%	96%	94%	93%
冷凍	2,505	2,289	2,177	2,095	1,844
前年度比	97%	91%	95%	96%	88%
塩干	5,714	5,837	5,429	4,894	4,562
前年度比	96%	102%	93%	90%	93%
合計	14,740	14,400	13,605	12,599	11,645
前年度比	92%	98%	94%	93%	92%



②金額ベース

単位: 千円

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
鮮魚	6,171,504	5,904,431	5,947,168	5,567,131	5,044,279
前年度比	96%	96%	101%	94%	91%
冷凍	2,890,298	2,895,611	2,807,001	2,679,489	2,329,036
前年度比	100%	100%	97%	95%	87%
塩干	4,380,377	4,518,818	4,481,529	3,915,968	3,581,474
前年度比	96%	103%	99%	87%	91%
合計	13,442,179	13,318,860	13,235,698	12,162,588	10,954,789
前年度比	97%	99%	99%	92%	90%



※本冊子に表示されている金額については、原則として消費税を含んだものになります。

◎ 青果部 令和2年度（開市日数254日）の月別取扱高

	合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
開 市 日 数	254	21	21	22	21	21
合 計	138,638,381	11,822,337	10,657,805	10,419,494	9,830,868	10,362,348
	29,954,202,779	2,615,848,003	2,344,501,176	2,538,555,288	2,683,708,202	2,835,519,977
平 均 単 価	216	221	220	244	273	274
1 日平均取扱高	545,820	562,968	507,515	473,613	468,137	493,445
	117,929,932	124,564,191	111,642,913	115,388,877	127,795,629	135,024,761
野 菜	114,459,226	10,327,207	9,288,387	8,974,685	8,105,113	8,655,184
	21,644,764,821	2,048,373,545	1,813,569,054	1,913,259,062	1,989,370,572	2,034,437,694
平 均 単 価	189	198	195	213	245	235
果 実	24,179,155	1,495,130	1,369,418	1,444,809	1,725,755	1,707,164
	8,309,437,958	567,474,458	530,932,122	625,296,226	694,337,630	801,082,283
平 均 単 価	344	380	388	433	402	469

日数：日
 上段 数量：kg
 下段 金額：円
 単価：円/kg

	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
開 市 日 数	20	23	21	23	20	20	21
合 計	11,530,155	14,338,650	13,454,431	12,666,335	10,400,990	11,497,184	11,657,784
	2,503,473,630	2,825,470,537	2,337,689,538	2,384,776,982	2,203,361,035	2,273,421,874	2,407,876,537
平 均 単 価	217	197	174	188	212	198	207
1 日平均取扱高	576,508	623,420	640,687	550,710	520,050	574,859	555,133
	125,173,682	122,846,545	111,318,549	103,685,956	110,168,052	113,671,094	114,660,787
野 菜	9,943,003	11,190,816	10,433,543	10,067,407	8,525,785	9,294,755	9,653,341
	1,809,244,916	2,018,853,799	1,593,956,973	1,599,454,922	1,571,908,969	1,542,931,508	1,709,403,807
平 均 単 価	182	180	153	159	184	166	177
果 実	1,587,152	3,147,834	3,020,888	2,598,928	1,875,205	2,202,429	2,004,443
	694,228,714	806,616,738	743,732,565	785,322,060	631,452,066	730,490,366	698,472,730
平 均 単 価	437	256	246	302	337	332	348

令和2年度品目別取扱量順位

(野菜)

数量=kg 金額=円 割合=%

区分 順位	品 目	数 量	割 合	金 額	割 合
1	キャベツ	19,885,712	17.4	1,653,622,510	7.6
2	たまねぎ	17,746,843	15.5	1,368,130,711	6.3
3	だいこん	11,263,406	9.8	895,742,180	4.1
4	はくさい	10,495,084	9.2	770,337,315	3.6
5	西洋にんじん	9,708,646	8.5	1,407,132,670	6.5
6	ばれいしょ	5,198,545	4.5	1,051,327,504	4.9
7	きゅうり	3,607,361	3.2	1,226,847,619	5.7
8	レタス	3,320,011	2.9	468,751,445	2.2
9	トマト	2,931,593	2.6	903,012,441	4.2
10	メイクイン	2,627,082	2.3	531,923,759	2.5
	そ の 他	27,674,943	24.2	11,367,936,667	52.5
	合 計	114,459,226	100.0	21,644,764,821	100.0

(果 実)

数量=kg 金額=円 割合=%

区分 順位	品 目	数 量	割 合	金 額	割 合
1	りんご	5,522,068	22.8	1,643,833,933	19.8
	内 (サンフジ)	2,340,957		587,196,116	
	内 (ふじ)	710,255		307,387,429	
2	柿	3,613,316	14.9	836,532,804	10.1
	内 (富有柿)	1,412,492		376,764,599	
	内 (刀根早生柿)	1,393,985		270,276,869	
3	みかん	3,559,796	14.7	783,591,231	9.4
	内 (ハウスみかん)	113,694		94,649,008	
4	すいか	2,280,215	9.4	515,471,299	6.2
	内 (こだますいか)	140,948		38,980,429	
5	中晩生柑橘類	1,479,828	6.1	284,386,861	3.4
	内 (甘夏みかん)	547,465		105,684,697	
	内 (はっさく)	387,495		73,090,512	
6	バナナ	1,386,863	5.7	274,459,379	17.0
7	いちご	933,557	3.9	1,169,685,741	14.1
8	なし	771,523	3.2	422,001,846	5.1
	内 (豊水)	259,695		146,080,746	
	内 (二十世紀)	158,595		85,399,488	
9	輸入柑橘	673,492	2.8	175,824,934	2.1
	内 (オレンジ)	336,100		81,984,796	
	内 (レモン)	172,200		59,874,312	
10	ぶどう	461,776	1.9	584,664,803	7.0
	内 (デラウェア)	152,844		156,261,242	
	内 (巨峰)	106,520		134,199,599	
	そ の 他	3,496,721	14.6	1,618,985,127	5.8
	合 計	24,179,155	100.0	8,309,437,958	100.0

※構成比は計算過程で四捨五入しているため、実際の合計値と一致しない場合があります。

令和2年度産地別取扱量順位

(野菜)

数量=kg 金額=円 割合=%

区分 順位	産地	数量	割合	金額	割合
1	北海道	25,213,513	22.0	3,098,697,780	14.3
2	愛知県	10,084,105	8.8	1,205,510,905	5.6
3	長野県	9,291,799	8.1	1,553,391,066	7.2
4	茨城県	7,423,998	6.5	714,859,741	3.3
5	徳島県	6,825,583	6.0	2,043,073,714	9.4
6	長崎県	6,291,949	5.5	989,461,912	4.6
7	青森県	5,424,791	4.7	1,103,573,037	5.1
8	鹿児島県	5,274,838	4.6	1,041,999,806	4.8
9	兵庫県	5,144,902	4.5	570,642,422	2.6
10	群馬県	4,852,386	4.2	570,288,912	2.6
	その他	28,631,362	25.0	8,753,265,526	40.4
	合計	114,459,226	100.0	21,644,764,821	100.0

(果実)

数量=kg 金額=円 割合=%

区分 順位	産地	数量	割合	金額	割合
1	和歌山県	5,201,772	21.5	1,359,324,877	16.4
2	青森県	4,916,261	20.3	1,438,092,431	17.3
3	奈良県	4,058,830	16.8	1,560,582,290	18.8
4	長野県	1,542,994	6.4	599,735,110	7.2
5	フィリピン	1,234,077	5.1	240,476,411	2.9
6	熊本県	1,065,213	4.4	437,440,681	5.3
7	愛媛県	872,010	3.6	200,367,782	2.4
8	愛知県	435,636	1.8	233,156,825	2.8
9	徳島県	397,108	1.6	190,488,176	2.3
10	鹿児島県	364,204	1.5	89,064,879	1.1
	その他	4,091,050	16.9	1,960,708,496	23.6
	合計	24,179,155	100.0	8,309,437,958	100.0

※構成比は計算過程で四捨五入しているため、実際の合計値と一致しない場合があります。

令和2年度 外国産地別取扱量の順位（内外取扱量比較）

（野菜）

数量=kg 金額=円 割合=%

区分 順位	産地	数量	割合	金額	割合
1	ニュージーランド	644,255	29.4	87,798,513	15.2
2	中国	561,936	25.7	171,685,073	29.7
3	メキシコ	501,604	22.9	122,557,008	21.2
4	韓国	343,963	15.7	126,542,411	21.9
5	ニューカレドニア	43,830	2.0	7,512,977	1.3
6	タイ	21,448	1.0	16,127,472	2.8
7	フィリピン	16,622	0.8	12,148,827	2.1
8	ベトナム	15,800	0.7	1,540,620	0.3
9	アメリカ	14,364	0.7	10,917,126	1.9
10	オランダ	10,100	0.5	6,718,086	1.2
	その他の外国	16,192	0.6	14,436,580	2.4
	外国産合計	2,190,114	100.0	577,984,693	100.0
	外国産野菜	2,190,114	1.9	577,984,693	2.7
	国内産野菜	112,269,112	98.1	21,066,780,128	97.3
	野菜合計	114,459,226	100.0	21,644,764,821	100.0

（果実）

数量=kg 金額=円 割合=%

区分 順位	産地	数量	割合	金額	割合
1	フィリピン	1,234,077	52.7	240,476,411	43.3
2	アメリカ	312,570	13.3	97,922,539	17.7
3	南米	299,021	12.8	58,751,508	10.6
4	オーストラリア	143,704	6.1	35,105,572	6.3
5	南アフリカ	89,321	3.8	17,037,924	3.1
6	チリ	87,356	3.7	29,667,118	5.3
7	ニュージーランド	67,644	2.9	37,698,672	6.8
8	メキシコ	41,487	1.8	15,250,828	2.7
9	イスラエル	36,975	1.6	6,696,108	1.2
10	中国	29,968	1.2	15,904,134	2.9
	その他の外国	1,322	0.1	287,126	0.1
	外国産合計	2,343,445	100.0	554,797,940	100.0
	外国産果実	2,343,445	9.7	554,797,940	6.7
	国内産果実	21,835,710	90.3	7,754,640,018	93.3
	果実合計	24,179,155	100.0	8,309,437,958	100.0

主要品目産地別図表（割合）

	0%	25%	50%	75%	100%			
だいこん	青森 (26.8)		北海道 (18.9)	鹿児島 (16.9)	長崎 (10.9)	その他 (26.5)		
西洋にんじん	北海道 (34.1)		徳島 (19.0)	長崎 (17.3)	鹿児島 (7.5)	その他 (22.2)		
はくさい	長野 (38.0)		茨城 (30.4)		和歌山 (4.8)	宮崎 (4.7)	その他 (22.1)	
キャベツ	愛知 (39.9)		群馬 (23.3)		茨城 (14.4)	長野 (7.0)	その他 (15.5)	
ほうれんそう	奈良 (42.2)		福岡 (33.5)		徳島 (11.2)	静岡 (4.3)	その他 (8.8)	
レタス	長野 (41.8)		兵庫 (20.6)		茨城 (16.5)	長崎 (11.1)	その他 (10.0)	
きゅうり	宮崎 (48.6)		愛媛 (13.7)		徳島 (10.0)	奈良 (4.9)	その他 (22.8)	
なす	奈良 (41.9)		高知 (29.7)		大阪 (9.4)	愛媛 (6.0)	その他 (12.9)	
トマト	熊本 (28.5)		愛知 (26.0)		奈良 (12.6)	北海道 (9.3)	その他 (23.7)	
ばれいしょ	北海道 (45.6)		鹿児島 (27.9)		長崎 (25.4)	その他(1.1)→		
たまねぎ	北海道 (68.9)		兵庫 (16.7)		佐賀 (7.7)	長崎 (3.7)	その他 (3.0)	
みかん	和歌山 (90.2)		徳島 (2.7)		その他 (7.1)			
いよかん	愛媛 (96.1)		和歌山 (2.8)		その他(1.0)→			
グレープフルーツ	南アフリカ (43.8)		アメリカ (26.4)		イスラエル (22.4)		その他 (7.4)	
ふじ	青森 (99.7)		山形(0.3)→					
二十世紀	鳥取 (54.5)		奈良 (21.8)		長野 (13.0)		熊本(8.8) その他(1.9)→	
富有柿	奈良 (98.3)		和歌山(0.8)→		その他(0.9)→			
桃	山梨 (48.6)		和歌山 (23.9)		長野 (14.1)		福島 (6.2)	その他 (7.2)
いちご	奈良 (54.5)		長崎 (16.2)		熊本 (13.1)		愛知 (10.9)	その他 (5.2)
アールスメロン	静岡 (25.1)		熊本 (19.8)		愛知 (16.3)		高知 (14.9)	その他 (23.9)
すいか	熊本 (30.7)		長野 (15.4)		山形 (11.2)		愛知 (10.3)	その他 (32.3)
バナナ	フィリピン (78.4)		南米 (21.5)		その他(0.1)→			

◎ 水産物部 令和2年度（開市日数254日）の月別取扱高

	合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
開 市 日 数	254	21	21	22	21	21
合 計	11,645,310	973,484	985,565	1,063,491	1,001,416	952,782
	10,954,788,594	827,812,348	855,561,263	912,233,126	913,915,837	882,001,951
平 均 単 価	941	850	868	858	913	926
1日平均取扱量	45,760	46,356	46,932	48,341	47,686	45,371
	42,962,350	39,419,636	40,741,013	41,465,142	43,519,802	42,000,093
鮮 魚	5,239,020	407,772	437,335	495,233	458,718	416,966
	5,044,278,834	347,653,967	374,418,587	425,839,046	436,188,056	408,609,552
平 均 単 価	963	853	856	860	951	980
冷 凍	1,843,908	136,434	142,766	150,449	167,166	157,161
	2,329,035,956	168,642,876	178,159,130	179,356,112	204,699,851	192,903,544
平 均 単 価	1,263	1,236	1,248	1,192	1,225	1,227
加 工 水 産 物	4,562,382	429,278	405,464	417,809	375,533	378,655
	3,581,473,804	311,515,505	302,983,546	307,037,968	273,027,930	280,488,855
平 均 単 価	785	726	747	735	727	741

日数：日
 上段 数量：kg
 下段 金額：円
 単価：円/kg

	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
開 市 日 数	20	23	21	23	20	20	21
合 計	915,780	991,164	923,522	1,250,842	844,311	829,280	913,673
	827,294,175	927,185,267	915,793,837	1,455,567,037	813,946,197	766,453,646	857,023,910
平 均 単 価	903	935	992	1,164	964	924	938
1日平均取扱量	45,789	43,094	43,977	54,384	42,216	41,464	43,508
	41,364,709	40,312,403	43,609,230	63,285,523	40,697,310	38,322,682	40,810,662
鮮 魚	394,229	490,210	438,489	522,554	387,092	374,454	415,967
	384,443,794	476,144,198	438,649,924	590,914,793	390,864,248	368,101,541	402,451,128
平 均 単 価	975	971	1,000	1,131	1,010	983	968
冷 凍	148,579	144,107	136,125	257,837	134,751	129,213	139,320
	176,402,033	177,697,722	174,692,307	366,312,866	174,562,979	161,746,839	173,859,697
平 均 単 価	1,187	1,233	1,283	1,421	1,295	1,252	1,248
加 工 水 産 物	372,972	356,847	348,908	470,451	322,467	325,612	358,386
	266,448,348	273,343,347	302,451,606	498,339,378	248,518,970	236,605,266	280,713,085
平 均 単 価	714	766	867	1,059	771	727	783

令和2年度 主要品目別取扱量

(鮮魚) 数量=kg 金額=円 構成比=%

順位	品目	数量	構成比	金額	構成比
1	ぶり	425,442	8.1	393,721,156	7.8
2	あじ	319,128	6.1	110,919,367	2.2
3	まだい(養殖)	311,446	5.9	235,128,656	4.7
4	さば	268,635	5.1	93,631,902	1.9
5	するめいか	191,754	3.7	118,346,832	2.3
6	まだい(天然)	182,475	3.5	118,758,516	2.4
7	はまち	171,034	3.3	102,463,371	2.0
8	かつお	160,993	3.1	90,929,956	1.8
9	はも	140,332	2.7	103,530,823	2.1
10	いわし	131,214	2.5	37,433,907	0.7
	その他	2,936,567	56.1	3,639,414,348	72.1
	合計	5,239,020	100.0	5,044,278,834	100.0

(冷凍) 数量=kg 金額=円 構成比=%

順位	品目	数量	構成比	金額	構成比
1	冷えび	247,801	13.4	448,868,240	19.3
2	冷かれい	223,646	12.1	179,257,184	7.7
3	冷きわだ	222,484	12.1	217,405,488	9.3
4	冷さけ	127,261	6.9	137,518,412	5.9
5	冷たこ	105,067	5.7	108,304,807	4.7
6	冷くろまぐろ	38,202	2.1	109,294,675	4.7
7	冷めばち	27,057	1.5	47,962,572	2.1
8	冷ずわいがに	23,401	1.3	78,513,669	3.4
9	冷もんごう	22,480	1.2	55,391,247	2.4
10	冷たら	9,105	0.5	11,195,484	0.5
	その他	797,404	43.2	935,324,178	40.2
	合計	1,843,908	100.0	2,329,035,956	100.0

(塩干) 数量=kg 金額=円 構成比=%

順位	品目	数量	構成比	金額	構成比
1	練り製品	1,378,258	30.2	862,743,480	24.1
2	塩さけ	545,444	12.0	437,065,032	12.2
3	塩さば	337,896	7.4	200,208,788	5.6
4	ちりめん	212,914	4.7	306,069,131	8.5
5	塩かずのこ	63,576	1.4	134,291,681	3.7
6	煮たこ	62,743	1.4	105,634,901	2.9
7	塩すけそうこ	35,058	0.8	49,015,130	1.4
8	なまり	13,901	0.3	11,774,615	0.3
9	身欠にしん	7,492	0.2	5,863,904	0.2
10	棒だら	4,515	0.1	22,605,323	0.6
	その他	1,900,585	41.7	1,446,201,819	40.4
	合計	4,562,382	100.0	3,581,473,804	100.0

※構成比は計算過程で四捨五入しているため、実際の合計値と一致しない場合があります。

◎ 関連事業者 令和2年度（開市日数254日）の月別取扱量

①年度別取扱高

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
関連売上高	2,610,522	2,521,566	2,446,200	2,290,235	1,952,886
前年度比	96%	97%	97%	94%	85%

②月別取扱高

（単位：円）

	合計	4月	5月	6月	7月	8月
開市日数	254	21	21	22	21	21
食料品	1,742,669,816	130,796,740	129,371,988	138,212,504	157,153,823	157,469,432
業務用品	116,118,950	8,281,360	9,745,648	8,498,312	8,880,032	9,466,007
利便施設	94,096,850	6,269,484	7,083,332	7,567,240	7,024,066	10,275,041
計	1,952,885,616	145,347,584	146,200,968	154,278,056	173,057,921	177,210,480
一日平均	7,688,526	6,921,314	6,961,951	7,012,639	8,240,853	8,438,594

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開市日数	20	23	21	23	20	20	21
食料品	141,704,894	158,236,692	148,444,082	203,692,965	125,190,335	115,592,892	136,803,469
業務用品	8,695,193	10,334,595	10,006,936	15,885,869	9,181,723	8,142,464	9,000,811
利便施設	10,189,575	7,932,858	4,581,609	9,854,248	8,956,139	5,991,757	8,371,501
計	160,589,662	176,504,145	163,032,627	229,433,082	143,328,197	129,727,113	154,175,781
一日平均	8,029,483	7,674,093	7,763,458	9,975,351	7,166,410	6,486,356	7,341,704

食料品： 節・干海藻・総合食品・調味料・佃煮・漬物・味噌・冷凍食品・練製品・食肉・鳥卵・麺・豆腐・こんにゃく
てんぷら・菓子・茶・卵焼・もやし・けん・焼魚

業務用品： 包装容器・金物・荒物・日用雑貨・漆器・陶器

利便施設： 食堂・花・園芸用品・レストラン・理容・貨物自動車運送業

1 1. 関係事業者及び団体等一覧

令和3年6月現在

卸 売 業 者

部 別	会 社 名	代 表 者 名	T E L (0 7 4 3)
青 果 部	株 式 会 社 奈 良 大 果	川 端 康 弘	5 6 - 7 1 3 1 (代)
	奈 良 中 央 青 果 株 式 会 社	山 口 義 一	5 6 - 7 1 5 1 (代)
水 産 物 部	株 式 会 社 南 都 水 産	川 井 純 司	5 6 - 7 2 0 2 (代)
	株 式 会 社 奈 良 魚 市	吉 岡 秀 起	5 6 - 7 2 8 1 (代)

仲 卸 業 者

(青 果 部)

店 舗 番 号	会 社 名	代 表 者 名	T E L (0 7 4 3)
1	金 八 物 産 株 式 会 社	西 川 惠 二	5 6 - 7 3 6 8
2	平 成 青 果 株 式 会 社	西 川 金 良	5 6 - 7 0 8 5
5	株 式 会 社 丸 三	西 川 金 良	5 6 - 7 3 6 6
6	美 濃 青 果 株 式 会 社	美 濃 匡 泰	5 6 - 7 3 3 6
11	大 和 青 果 株 式 会 社	西 岡 昭 正	5 6 - 7 3 5 2
13	株 式 会 社 な ら に つ か	西 川 惠 二	5 6 - 7 3 0 0
14	奈 良 丸 栄 産 業 株 式 会 社	清 野 明 広	5 6 - 7 3 7 5
15	株 式 会 社 藤 村 青 果	藤 村 茂 喜	5 6 - 7 3 0 4
16	源 商 事 株 式 会 社	嘉 数 宜 常	5 6 - 7 3 0 7
18	株 式 会 社 奈 良 ナ ニ ワ	須 田 勝 彦	5 6 - 7 3 8 6
20	株 式 会 社 フ ル ッ ク ス	黒 田 久 一	5 6 - 7 3 1 1
21	株 式 会 社 大 栄	岡 田 セ ツ 子	5 6 - 7 3 4 8
23	櫃 原 青 果 株 式 会 社	池 島 秀 幸	5 6 - 7 3 7 8
24	株 式 会 社 丸 果	山 根 暁	5 6 - 7 3 7 2
25	郡 山 株 式 会 社	坂 本 保 弘	090-8795-7735
29	株 式 会 社 カ ネ モ リ 青 果	森 田 幸 治	5 6 - 7 3 8 9
30	株 式 会 社 奈 良 丸 共	新 家 真 人	5 6 - 7 3 8 0
31	岩 井 青 果 株 式 会 社	岩 井 良 高	5 6 - 7 3 3 2

(水 産 物 部)

店 舗 番 号	会 社 名	代 表 者 名	T E L (0 7 4 3)
2	大 良 水 産 株 式 会 社	畔 上 千 尋	5 6 - 7 4 3 7
3	株 式 会 社 大 丸 水 産	吉 川 正 典	5 6 - 7 4 2 3
6	株 式 会 社 天 水	大 西 馨	5 6 - 7 4 9 5
7	株 式 会 社 山 小 商 店	島 田 博 文	5 6 - 7 4 6 4
8	七 海 水 産 株 式 会 社	藤 本 高 司	5 6 - 7 6 2 0
10	奈 良 塩 乾 物 株 式 会 社	吉 川 和 宏	5 6 - 7 4 7 3
11	株 式 会 社 魚 昌	山 口 恵 司	5 6 - 7 2 1 8
12	新 栄 水 産 株 式 会 社	竹 内 亮 夫	5 6 - 7 4 8 0
15	松 本 水 産 株 式 会 社	松 本 利 隆	5 6 - 7 4 1 7
16	株 式 会 社 奈 良 中 央 水 産	小 牧 弘 二	5 6 - 7 2 6 7
19	株 式 会 社 丸 二 商 店	生 谷 真 孝	5 6 - 7 4 5 5

店舗番号	会社名	代表者名	T E L (0 7 4 3)
20	マルキ水産株式会社	林 富美夫	5 6 - 7 4 8 6
21	株式会社ヤマト水産	楠 本 洋 士	5 6 - 7 4 2 0
25	株式会社ヤマカン	吉 田 新	5 6 - 7 4 0 8
26	平城水産株式会社	裏 南 好太郎	5 6 - 7 4 0 4
28	有限会社古賀商店	古 賀 國 信	5 6 - 7 4 7 6
29	丸中水産株式会社	中 村 洋 祐	5 6 - 7 4 2 6
30	勝栄水産株式会社	大国谷 栄 嗣	5 6 - 7 4 9 7
31	奈良大市株式会社	植 田 有 一	5 6 - 7 4 9 0
35	株式会社奈良さかもと	阪 本 義 浩	5 6 - 7 4 1 4
38	株式会社光進	栗 巢 勝 行	5 6 - 7 4 0 5
39	丸誠水産株式会社	瀬 川 晴 雄	5 6 - 7 4 7 1

関 連 事 業 者

業 種	会社名	代表者名	T E L (0 7 4 3)
節	マルト鰹節株式会社	遠 藤 善 邦	5 6 - 7 5 4 9
	株式会社奈良鰹	近 藤 宏 毅	5 6 - 7 5 2 0
総合食品 干海藻	五大物産株式会社	角 田 勇 吉	5 6 - 7 5 5 0 5 7 - 1 0 9 1
佃 煮	株式会社美津和商会	藤 本 浩	5 6 - 7 5 7 5
漬物味噌	有限会社大和漬物	兵 頭 スミエ	5 6 - 7 5 4 1
練 製 品	山中蒲鉾株式会社	山 中 勝 治	5 6 - 7 5 1 8
食 肉	ジュルネフーズ株式会社	昼 馬 勝 城	5 6 - 7 5 5 5
	株式会社イシダフーズ	石 田 薫	5 9 - 0 9 0 1
鳥 卵	北和鶏卵販売株式会社	北 山 博 之	5 6 - 7 0 5 0
	株式会社いかるが鶏卵	白 野 泰 之	5 6 - 7 5 5 7
麵	奈良県麺類卸売株式会社	上 田 昌 代	5 6 - 7 5 2 5
こんにゃく	大和蒟蒻株式会社	高 木 定 一	5 6 - 7 5 2 6
菓 子	株式会社西川商店	西 川 敏 幸	5 6 - 7 5 3 4
茶	株式会社駒井商店	駒 井 平 和	5 6 - 7 5 2 7
卵 焼	株式会社ビッグウェイフーズ	下 村 忠 好	5 6 - 7 5 8 0
焼 魚	栄水産加工株式会社	沖 本 貴 司	5 6 - 7 5 1 9
	合同会社門松	供 田 精 男	5 6 - 7 7 1 1
も や し	株式会社奈良中央萌	増 田 裕 明	5 6 - 7 5 1 5
包装資材 容 器	株式会社ダイワ郡山	川 端 光 雄	5 6 - 7 5 2 8
	株式会社川西包装社	川 西 康 仁	5 6 - 7 5 8 6
花・園芸用品	株式会社フラワーガーデン	松 田 登 貴也	5 6 - 7 4 4 7
レストラン	株式会社ダイショク	井 上 康 則	5 6 - 7 0 2 2
理 容	理 容 中 島	中 嶋 秋 重	5 6 - 7 0 6 5
冷 蔵	奈良市場冷蔵株式会社	福 谷 健 夫	5 6 - 7 0 2 5
郵 便 等	中央卸売市場郵便局	横 山 邦 男	5 6 - 7 2 6 6
金 融	株式会社南都銀行	橋 本 隆 史	5 9 - 1 1 3 1

各種団体

団体名	代表者名	T E L (0 7 4 3)
奈良県中央卸売市場協会	西川 惠 二	5 6 - 7 0 4 0
奈良県中央市場青果卸売協同組合	西川 惠 二	5 6 - 7 2 9 0
奈良県中央卸売市場水産物卸協同組合	吉田 新	5 6 - 7 2 9 1
奈良県中央卸売市場関連卸協同組合	川西 康 仁	5 6 - 7 0 6 0
奈良県中央卸売市場青果商業協同組合	熊田 守 孝	5 6 - 7 0 7 5
奈良県中央卸売市場水産物商業協同組合	高谷 嘉 彦	5 6 - 7 0 7 5
奈良県青果精算株式会社	山口 義 一	5 6 - 7 0 7 1
奈良県中央市場水産物精算株式会社	吉岡 秀 起	5 6 - 7 0 7 2
奈良県農業協同組合奈良青果事務所	高間 誠 一	5 6 - 7 2 8 7
奈良県青果水産加工場管理協同組合	西川 惠 二	5 6 - 7 0 0 0
奈良県中央卸売市場清掃組合	山口 義 一	5 6 - 7 0 0 1
奈良県魚食普及協議会	川井 純 司	5 6 - 7 0 0 3

1 2 . 市場開設者等の組織及び所掌事務

中央卸売市場(食と農の振興部)

開設者 奈良県知事

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 企画管理課 | ①場内における人事、予算、決算その他庶務に関すること。 |
| 総務管理係 | ②市場施設の維持管理に関すること。 |
| (0743-56-7000) | ③事業の企画及び総合調整に関すること。 |
| 施設係 | ④場内の取締りに関すること。 |
| (0743-56-7001) | ⑤その他業務課の主管に属さないこと。 |

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| 業務課 | ①市場関係事業者の業務についての許認可及び承認事務に関すること。 |
| 業務係 | ②市場関係者の指導監督に関すること。 |
| (0743-56-7003) | ③市場における売買取引の調査統計に関すること。 |
| | ④「市場ブランド」の推進に関すること。 |
| | ⑤その他市場関係事業者に関すること。 |

※共通FAX

(0743-56-7014)

中央卸売市場再整備推進室(食と農の振興部)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 総務調整係 | ①市場の再整備(総務)に関すること。 |
| (0743-56-7004) | ②室の予算、決算、その他庶務に関すること。 |

- | | |
|----------------|-------------------|
| 建設推進係 | 市場の再整備(建設)に関すること。 |
| (0743-85-7126) | |

※共通FAX

(0743-85-7157)

食品衛生検査所(文化・教育・暮らし創造部)

- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| 市場食品検査課 | ①市場内で取り扱う食品等の収去及び試験検査に関すること。 |
| (0743-56-7007) | ②市場内の営業用施設及び市場内に取り扱う食品等の監視指導に関すること。 |
| 電話・FAX共用 | ③市場内で取り扱う食品に関する表示の適正確保に関すること。 |
| | ④市場内で発生した食中毒等緊急危機管理事案における調査協力に関すること。 |
| | ⑤市場内の食品事業者の衛生教育に関すること。 |
| | ⑥その他市場内の食品衛生に関すること。 |

1 3. 奈良県中央卸売市場のあゆみ

年	月	経緯
S 4 3	4	市町村市場行政担当者会議を開催、市場整備について意見交換
S 4 4	1	行政機関、市場業者、生産者団体、学識経験者等による第1回市場整備懇談会を開催
S 4 5	1	生鮮食品卸売市場整備基本調査報告書を作成
	4	青果及び水産物業者に業界整備について検討を依頼
S 4 6	4	県営中央卸売市場設置計画原案作成に着手
S 4 7	2	農林省より「中央卸売市場整備計画」の公表 (設置場所 大和郡山市、開設者 奈良県)
	4	奈良県農林部に中央卸売市場建設室を設置
	4	中央卸売市場設置対策協議会を設置
S 4 9	7	中央卸売市場建設工事事務所を設置
	7	実施設計業務を委託
	1 0	基盤整備工事着工
S 5 0	5	市場用地を全面取得。
	6	施設建設工事着工
S 5 2	3	施設完成
	4	農林大臣の開設認可(22日)
	5	業務開始(10日)
S 5 4	5	関連商品棟(鉄筋コンクリート造2階建)増設
S 5 5	3	加工場(鉄筋コンクリート造平屋建)増築
	3	冷蔵庫棟(鉄筋コンクリート造平屋建)増築
S 6 0	1 2	水産物部仲卸業者の分割活性化。(30社→40社)
S 6 1	3	特別高圧受電設備設置
S 6 3	9	冷蔵庫棟(鉄骨造平屋建)増設。
H 4	9	超低温冷蔵庫棟増設
H 8	7	卸売場棟保冷施設設置。
H 9	3	青果水産加工場設置
H 1 6	1 2	関連倉庫設置
H 2 3	4	荷捌き場設置。
H 2 6	7	関連商品売場棟多機能トイレ設置
H 2 7	8	「奈良県中央卸売市場将来ビジョン検討会議」を設置し、市場の将来について検討を開始
H 2 8	3	冷蔵庫棟エレベーター更新
H 2 8	1 1	卸売場棟1階トイレ改修
H 2 9	1 1	卸売場棟2階トイレ改修
H 3 0	3	「奈良県中央卸売市場 再整備基本構想」の策定
R 元	9	「奈良県中央卸売市場 再整備基本計画」の策定
R 2	6	卸売市場法改正に伴う農林水産大臣の認定(21日)
R 3	3	「奈良県中央卸売市場 再整備基本計画実施プラン」の策定



卸売市場の概要

令和3年6月発行

〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町957-1

奈良県中央卸売市場 業務課

TEL:0743(56)7003

FAX:0743(56)7014

